

教科名	美術	科目名	映像表現（3年次）【4単位】	
授業形態	デザインソフトを使った作品制作及び作品鑑賞			
選んでほしい生徒	美術やデザイン、パソコンに興味関心があり、いろいろなデザイナーや作家の作品を鑑賞してみたいと思っている人。			
科目の目標	デザイン制作を通して、心理効果や表現の意図、メッセージを的確に伝えるための方法や技法を学び、生活の中のデザインの役割や、「用と美」について理解する。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 フォトレタッチソフト(Photoshop)や動画編集ソフト（ムービーメーカー）等、複合的な使用を通して、ソフトの特性を理解しながら芸術性豊かな表現力を高める。</li> <li>2 デザインが芸術や社会に果たす役割についての理解を深める。</li> </ol>			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 名刺デザイン</li> <li>2 トレースデザイン</li> <li>3 アニメーション1</li> </ol> <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 アニメーション2</li> <li>5 アニメーション3</li> <li>6 DVD制作</li> <li>7 鑑賞</li> </ol> <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>8 Tシャツデザイン</li> </ol>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・Photoshopを中心に使用し、メディア機器の使い方やベーシックデザインを学習し、制作に生かす。</li> <li>・1学期の基礎を生かしたより深いデザインを追求する。</li> <li>・あらゆるメディア機器を利用して作品を制作する。</li> <li>・デザイナーや作家の作品研究、鑑賞を行う。</li> <li>・1、2学期に学んだ技法を用い、作品制作を行う。</li> </ul>	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	・メディア表現の創造活動の喜びを味わい、コンピュータを使った表現に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	・感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	・創造的なコンピュータを使った表現をするために必要な技能を身に付け、表現を工夫して表している。	・美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
	上記の観点を踏まえ、各学期とも評価を行う。			
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業作品完成度を重視するので、休まず授業に出席し制作に専念する姿勢が大切である。</li> <li>2 ベーシックデザインを展開させながら、アイデア豊富なオリジナリティあふれる表現を心がけたい。</li> <li>3 メディア機器やデザインソフトの用途、技術をしっかり把握して、制作に生かし表現を高めたい。</li> </ol>			
教材費	4,000円			
その他	美術系の進学に役立つとともに、デザインすることや鑑賞することをより深く学び、表現活動を楽しむための授業である。			